

# 付着生物ラバー情報

## 秋から冬生まれのムラサキイガイ ラバーはほとんど付着しません

### 1 ラーバ等の出現状況

直近のラーバ等の出現数は表1のとおりです。

#### (1) ユウレイボヤ (通称：ハナ)

ラバーは見られていません。

#### (2) ムラサキイガイ

ラバーは11月3日に川内沖で7.0個体/m<sup>3</sup>見られました。

#### (3) サンカクフジツボ

ラバーは10月27日に久栗坂沖で0.6個体/m<sup>3</sup>、11月3日に川内沖で0.8個体/m<sup>3</sup>見られました (図4)。

#### (4) その他

アミクサの小枝、キヌマトイガイのラバー、オベリア類のクラゲは見られていません。

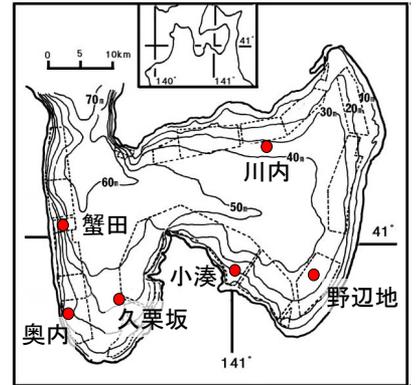


図1 ラーバ調査地点

表1 ラーバ等の出現状況

| 調査地点 | 調査月日     | ユウレイボヤ | ザラボヤ | キヌマトイガイ | ムラサキイガイ | サンカクフジツボ | オベリア類クラゲ | アミクサ小枝 |
|------|----------|--------|------|---------|---------|----------|----------|--------|
| 奥内沖  | R2.10.28 | 0.0    | 0.0  | 0.0     | 0.0     | 0.0      | 0.0      | 0.0    |
| 久栗坂沖 | R2.10.27 | 0.0    | 0.0  | 0.0     | 0.0     | 0.6      | 0.0      | 0.0    |
| 野辺地沖 | R2.10.27 | 0.0    | 0.0  | 0.0     | 0.0     | 0.0      | 0.0      | 0.0    |
| 川内沖  | R2.11.3  | 0.0    | 0.0  | 0.0     | 7.0     | 0.8      | 0.0      | 0.0    |

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

単位: 個体/m<sup>3</sup>

### 2 今後の見込み

**ユウレイボヤ**は水温が20℃以下に低下すると産卵しますが、現在、陸奥湾内の中層水温は16~18℃です。

未分散のパールネットにユウレイボヤが多く付着している地区では、**ラバーが出現する可能性がある**ので、親ボヤを減らすために分散作業を早めに進めてください。また、ユウレイボヤは**深いところで多く付着**することが分かっているので、施設を沈めすぎないようにしましょう。

**ムラサキイガイ**のラバーは4~7月まで出現していたので、稚貝および耳吊り貝に小さい個体が多く見られる可能性があります。ラバーは少し見られますが、これまでの調査で**秋から冬生れのラバーの付着はほとんどない**ことが分かっています。

**サンカクフジツボ**の付着直前のラバーがわずかに見られますが、付着のピークは過ぎています。

**アミクサ小枝の本格的な出現は12月以降、オベリア類とキヌマトイガイの付着は年明け**になるとおられます。

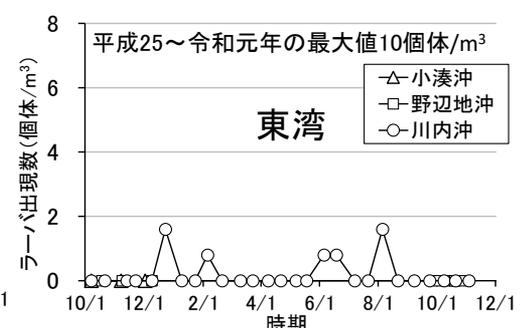
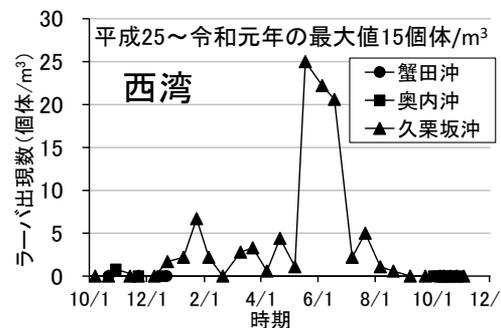


図2 ユウレイボヤラバー出現数の推移 (令和元年10月~令和2年11月)

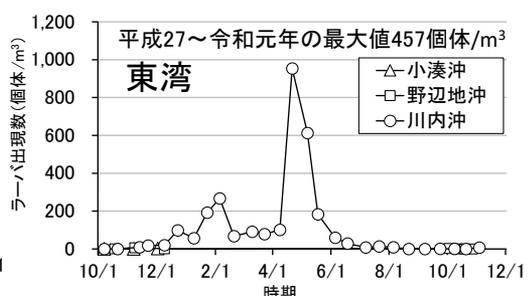
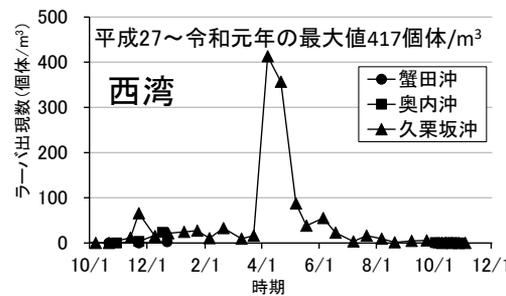


図3 ムラサキイガイラバー出現数の推移 (令和元年10月~令和2年11月)

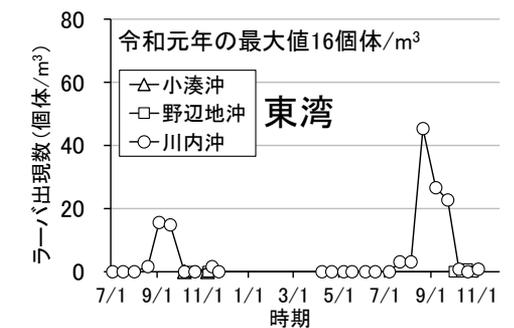
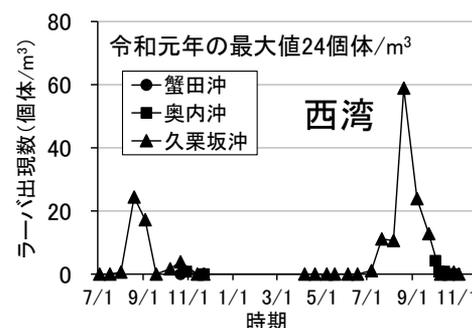


図4 サンカクフジツボラバー出現数の推移 (令和元年7月~令和2年11月)

